

～君らしい 笑顔輝く 学校へ～

12月 じんげんだより

令和5年
12月
横瀬小学校

鹿背山教室 ―とくしま親なびワークショップ―

たくさんの保護者の皆さんに
ご参加いただきありがとうございました。

11月26日(日)、PTA 授業参観の後、鹿背山教室が行われました。今年度は、県教育委員会の「家庭教育推進ワークショップ」の事業を利用し、「子どもに自信をつけるほめ方」をテーマに、3名の親なびげーたーの方にワークショップをしていただきました。

初めのアイスブレイクでは、誕生日の早い順に4人ずつのグループを作り、そのグループで自己紹介をし合いました。それぞれに「呼んでほしい名前」「子どものこと」「好きな食べ物」「頑張りたいこと」を話し、互いのことを楽しく知ることができました。その雰囲気のまま、次は、家庭での子どものほめ方の話です。皆さんは、ほめることが大事だとは分かっていますが、「頑張ったね」「すごいね」などいつも同じようなほめ方になっていませんか。そこで、このワークショップでは、普段のほめ言葉に気持ちをプラスして伝える方法について話し合いました。参加者からは、

○学校から帰ったとき

「お帰り。今日も一日お疲れ様。」

「お帰り。今日も元気に帰ってきてくれてありがとう。」

○お手伝いをしてくれたとき

「○○ちゃん、お手伝いしてくれてありがとう。」

「代わりにやってくれて助かったよ。ありがとう。」

○学校の勉強やクラブ活動、習い事などで成果が出たとき

「頑張ったね。」ハグしてチュー♡

「すごい、最後まであきらめずにできてえらいね。」

など、たくさんの意見やアイデアが出されました。このワークショップには答えはありません。話し合いを通して、互いのことや考えを知り、「やってみようかな」、そんな気持ちになってくれればよいのです。

最後に・・・お子さんをほめるときには、心の中のコップにきれいな水を注ぐようなイメージをもってください。コップの水は、日々の生活エネルギーや頑張りに使います。子ども



<親なびげーたーの皆さん>



<アイスブレイキング>



<グループでアイデアを出し合います>

たちは日々の生活の中で、頑張りすぎで心のコップが空になってしまったり、つらい経験で心の水が濁ってしまったりすることがあります。そんな時、お子さんをたくさんほめることで、心のコップにきれいな水を注いであげてください。たくさんのお水は、空っぽになったコップを満たし、濁った水を薄めてくれるでしょう。子どもたちの心のコップがいっぱいになっていれば、勇気とエネルギーでいろいろなことに挑戦する力がもてます。

このワークショップをお家の方の「勇気とエネルギー」にしていただければ幸いです。



いのち 生命の安全教育

性犯罪・性暴力は、被害者の尊厳を著しく踏みにじる行為で、決して許されないものです。『相手の同意のない性的な行為は性暴力』であり、『悪いのは加害者である』、『被害者は悪くない』という認識を社会全体で共有し、性犯罪・性暴力の根絶のための取組や被害者支援を強化していく必要があります。

学校では、子どもたちを性暴力の加害者、被害者、傍観者にしないため、「生命の安全教育」に取り組んでいます。

生命（いのち）の安全教育とは、「生命の尊さを学び、性暴力の根底にある誤った認識や行動、また、性暴力が及ぼす影響などを正しく理解した上で、生命を大切に考える考えや、自分や相手、一人一人を尊重する態度等を発達段階に応じて身に付けることを目指すもの」です。自分の身体も相手の身体も大事にすることや、どんなときに「いやな気持ち」になるかを考えることから始まり、年齢が上がるにつれて、性被害への具体的な対処法なども学んでいきます。高学年は、SNSの利用に関する指導も加わっていきます。

保護者の皆様におかれましては、「生命の安全教育」について、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

12月18日には、「人間と性」教育研究協議会から高橋三枝子先生が2年生に来てくださり、自分の体にもほかの人の体にも人権があるということを、体験活動を盛り込みながら授業していただきます。



歳末助け合い運動にご協力を！

12月5日(火)から歳末助け合い募金を行っています。集まったお金は、勝浦町社会福祉協議会を通して、寝たきりの方や体の不自由な人のために使われます。明日8日(金)まで行っています。皆様のあたたかいお心づかいをよろしくお願いいたします。

